

# 国語科学習指導案

指導者 広島市立〇〇小学校  
教諭 〇〇 〇〇

1 日 時 平成24年10月〇日

2 学年・組 第4学年〇組

## 3 指導事項

(1) 話すこと・聞くこと オ

- 互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うこと。

(2) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)

- 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。

4 単元名 みんなで話し合っ

## 5 言語活動

- 学級全体で話し合っって考えをまとめたり、意見を述べ合ったりすること。  
「話し合いの『とらの巻』を作ろう」

## 6 単元の評価規準と目指す児童の具体的な姿

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合うことによって課題を解決したいという意欲をもち、役割を分担しながら、提案したり意見を整理したり、自分の考えを発言したりしようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>司会や提案などの役割を理解し、話し合っている。</li> <li>互いの考えの共通点や相違点を考え、進行に沿って話し合っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見を伝えたり、共有したりするために、適切な言葉で自分の考えを表すことが大切であることに気付いている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いに進んで参加し、司会や提案などの役割を果たしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いの進め方や参加の仕方を考えながら、話し合いに参加している。</li> <li>自分と友達の意見を比べながら聞いたり、議題を意識しながら話したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級全体又は、グループで話すとき、適切な言葉遣いで話したり、適切な音量や速さで話したりしている。</li> </ul>

## 7 単元について

○ 児童の状況

- 司会や提案などの役割を理解し、話し合うこと：学級会や学習活動の中で、司会を立てて話し合うことは経験している。しかし、国語の授業の中で、司会や提案の仕方、話し合いの流れについて学習するのは初めてである。
- 互いの考えの共通点や相違点を聞き取りながら、進行に沿って話し合うこと：今まで行った話し合いや意見交流の場面では、進行に沿って話し合うことはほぼできている。しかし、互いの考えの共通点や相違点を考えながら発言したり、話し合いをまとめたりすることができる児童は少ない。

- ・ 適切な言葉で話すこと：ふだんから丁寧な言葉で話す児童が多く、授業中も適切な言葉遣いを意識して発言することができる。しかし、意見はもっているのに、理由が言えないために発言をためらう児童や声が小さい児童、緊張して早口になってしまう児童など、自分の考えを的確に伝えることが難しい児童も少なくない。

○ 教材の価値

- ・ 本教材は、司会を立てて話し合うという活動を通して、話し合いを進行する際の役割を理解し、話し合いを運営する能力をつけるという内容である。そのために、話し合いの基本的な型と司会の役割について学ぶ。話し合いの型を学ぶことによって、意見を出す段階とそれを審議する段階、さらに意見を集約して結論を出す段階があることを理解し、理由を挙げながら話す力、友達の意見を共通点や相違点を考えながら聞く力など、音声言語による「伝え合う力」を育てる教材である。4年生の児童は、自我の発達に伴い、物事を自分の意志で決めたいという気持ちが強くなっていく。話し合いの基本的な進め方を知ることで、より充実した話し合いの力を育てることができると思う。

○ 指導の工夫

- ・ 司会や提案などの役割を理解し、話し合うこと：話し合いを行う前に、良い聞き方やつなげる話し方、司会の仕方や話し合いの流れをまとめた「とらの巻」を作成し、話し合いを行う際の参考にさせる。また、担任が司会役をする機会を設け、良い点や改善点を話し合わせることで、司会の役割を明確にさせる。実際の話し合いでは、全体を見ながら話し合いが進められるように、司会の台本（「話し合いの進め方」）に沿って、二人で司会をさせる。
- ・ 互いの考えの共通点や相違点を聞き取りながら、進行に沿って話し合うこと：議題を事前に知らせておくことで、自分の意見をもって話し合いに参加できるようにさせる。話し合いの場面では、話し合いの流れが見えるカードを黒板に掲示し、進行に沿って話し合えるようにする。「整理タイム」を設け、自分の意見と友達の意見の共通点や相違点を意識させるとともに、「作戦タイム」で自分の考えを明らかにさせ、友達の考えと比べながら話し合うことができるようにする。また、話し合いの良かった点や改善点について客観的に振り返ることができるように、学級全体を2つのグループに分け、一方が話し合いを行っている間、もう一方がその様子を観察する「アリーナ方式」を取り入れる。さらに、ビデオカメラで話し合いの様子を撮影し、振り返りの際の資料にする。
- ・ 適切な言葉で話すこと：ペアやグループで、聞き方や話し方の演習を行い、「話しやすい聞き方」や「分かりやすい話し方」を「とらの巻」にまとめさせ、話し合いの場面で生かせるようにする。

8 単元の学習と評価の計画

次	時	学 習 活 動 (評価方法)	評価の観点		
			国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
一	1	「とらの巻を作成することを知る」 ・ 今までの話合いについて、良い点や改善点を話し合う。 (行動観察・発言・シート)	○		
二	2	「とらの巻を作成する①」 ・ 聞き手に反応がある場合と反応がない場合の聞き方を比べ、「話しやすい聞き方」について話し合う。 (行動観察・発言・シート)		○	○
	3	「とらの巻を作成する②」 ・ つなぐ言葉を使って輪つなぎおしゃべりをし、「分かりやすい話し方」について話し合う。 (行動観察・発言・シート)		○	○
	4	「とらの巻を作成する③」 ・ 司会の役割について話し合う。 (行動観察・発言・シート)		○	
	5 6	「とらの巻を使う」 ・ 参加者の役割に視点を当て、話し合う。 (本時2/2) (行動観察・発言・シート)		○	
	7	「とらの巻を見直す」 ・ ビデオを見て、話合いを振り返る。 (行動観察・発言・シート)		○	○

※準備物 シート（とらの巻） 評価シート 振り返りシート 撮影用ビデオ

9 本時の目標

- 話し合う活動を通して、話し合い方についての理解を深める。

10 学習展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準・評価方法
1 本時のめあてを確認する。	○ 前時のまとめから、自分のめあてを明確にするように伝える。	
「話し合い とらの巻」を使って、話し合いの達人になろう。②		
<p>2 Bグループが話し合いをし、Aグループは話し合いの様子を観察する。</p> <p>B：話し合いの流れに沿って話し合う。</p> <p>&lt;話し合いの流れ&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 始め</li> <li>2 意見タイム</li> <li>3 整理タイム</li> <li>4 質問タイム</li> <li>5 作戦タイム</li> <li>6 話し合いタイム</li> <li>7 まとめ</li> </ol> <p>A：話し合いを観察する。</p>	<p>○ 進行に沿って話し合いができるように、話し合いの流れを黒板に掲示する。</p> <p>○ これまでの学習を生かして話し合いができるように、「とらの巻」を再確認するよう伝える。</p> <p>○ 自分の話し合いについて振り返ることができるように、「振り返りシート」を用意する。</p> <p>○ 話し合いを客観的に観察して振り返ることができるように、「評価シート」を用意する。</p>	
<p>3 Bグループの話し合いについて振り返る。</p> <p>&lt;振り返りの観点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 聞き方（顔を見ながら聞く、比べながら聞く）</li> <li>・ 話し方（はっきり話す、理由を付けて話す、つなげて話す）</li> <li>・ 互いの意見の共通点や相違点を意識して話していたか。</li> </ul>	<p>○ 良かった点、改善点について、「評価シート」や「振り返りシート」を基に考えるよう伝える。</p> <p>C児童への手だて：振り返りの観点を書いたカードを提示し、観点を絞って発言できるようにする。</p>	<p>A：今まで学習したことを基に、話し合いの良かった点や改善点について根拠を挙げて話している。</p> <p>B：話し合いの良かった点や改善点について根拠を挙げて話している。</p>
4 本時のまとめをする。	○ 本時のめあてが達成できたかを振り返りシートを使って確認するよう伝える。	(行動観察・発言、評価シート、振り返りシート)